

平成23年度

第2回 江別市社会福祉審議会

平成24年2月24日（金）
午後2時～
江別市保健センター

次 第

1 開 会

2 議 題

（報告事項）

議題1 平成24年度予算案の概要について・・・・・・・・・・P1～6

議題2 江別市高齢者総合計画【「第5期介護保険事業計画」
「第6期高齢者保健福祉計画」】の概要について・・・・・・・・P7～8

議題3 障がい者支援・えべつ21プラン「第3期障がい福祉計画」
の概要について・・・・・・・・・・P9～10

議題4 知的障がい者生活実態調査について・・・・・・・・・・P11

3 その他

4 閉 会

平成24年度 江別市 予算案

基本理念

第5次江別市総合計画後期基本計画を基本に据え、

- 「元気で安心できる、人にやさしい街」
- 「子どもを産み育てる環境が整う教育・文化あふれる街」
- 「地域の特性を活かした産業を生み出す街」
- 「環境に配慮したみどりあふれる街」
- 「立ち止まらない市政改革のもと、市民が参加する市民協働の街」

の5つの視点でまちづくりを進めます。

予算編成のポイント

平成24年度当初予算は、基本理念に基づく政策の推進や総合計画の施策・事業の継続性にも配慮しながら、人口減少への対応、企業立地、子育て支援、環境、安全安心といった重点政策課題を中心に事業の新設や拡大の検討を行ったほか、継続事業についても緊急度や優先度等を見極めながら予算編成を行いました。

人口対策 に関すること

- ◆都市と農村の交流…(P7)
- ◆札幌圏への江別の魅力発信…(P7,11)



企業立地 に関すること

- ◆RTNパークの造成…(P7)
- ◆総合特区の推進…(P7)



子育て支援 に関すること

- ◆病児・病後児保育事業支援…(P8)
- ◆乳幼児医療費の入院助成拡大…(P8)



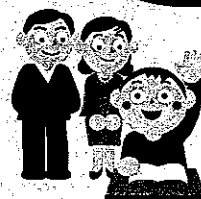
環境 に関すること

- ◆環境教育の推進…(P6)
- ◆自治会防犯灯のLED化補助…(P9)
- ◆太陽光や地中熱を活用した公共設備の整備…(P8,9)



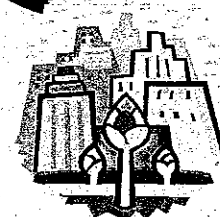
教育 に関すること

- ◆特別支援教育の充実…(P10)
- ◆校舎の耐震化…(P10)
- ◆学習サポートの充実…(P10)
- ◆学校適正配置の推進…(P10)



街づくり に関すること

- ◆新栄団地A棟建設…(P8)
- ◆江別駅跨線人道橋建設…(P9)
- ◆江別の顔づくり事業推進…(P9)



安全安心 に関すること

- ◆災害対応物品整備…(P9)
- ◆救急対応の高度化…(P9)
- ◆市民体育館耐震診断…(P10)

予算規模

【各会計予算額】

(単位:千円、%)

	平成23年度	平成24年度	差	伸率
一般会計(当初予算)	38,645,000	39,240,000	595,000	1.5
特別会計	20,847,500	22,691,500	1,844,000	8.8
企業会計	15,591,727	16,715,988	1,124,261	7.2
合計	75,084,227	78,647,488	3,563,261	4.7

一般会計は、392億4,000万円で、昨年の386億4,500万円に比べて5億9,500万円(1.5%)増加する予算案となっています。これは、主に江別の顔づくり事業の進展や新栄団地建替え等により投資的経費が増加したことによるものです。

なお、一般会計と特別会計、企業会計の合計額は、786億4,748万8千円となり、昨年に比べて4.7%の増加となっています。

一般会計予算 392億4,000万円
(+5億9,500万円)

一般会計とは、教育や福祉、道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計のことです。
主な収入は、市税(市民税や固定資産税など)や地方交付税などです。



特別会計予算 226億9,150万円
(+18億4,400万円)

特別会計とは、特定の目的のための会計で、国民健康保険税などの特定の収入があり、一般会計予算から切り離してその収入・支出を管理する会計のことです。江別市には、4つの特別会計があります。

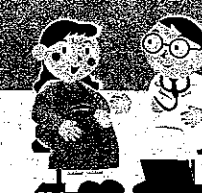
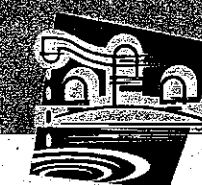
- ◆国民健康保険特別会計 132億6,900万円
(+11億4,700万円)
- ◆後期高齢者医療特別会計 14億400万円
(+9,900万円)
- ◆介護保険特別会計 75億8,800万円
(+4億1,200万円)
- ◆基本財産基金運用特別会計 4億3,050万円
(+1億8,600万円)



企業会計予算 167億1,598万8千円
(+11億2,426万1千円)

江別市では、水道事業、下水道事業及び病院事業の3つの公営企業会計があります。民間企業と同じように事業で収益をあげて運営しています。

- ◆水道事業会計 32億9,767万9千円
(+2億1,547万4千円)
- ◆下水道事業会計 52億5,236万6千円
(+4億5,243万9千円)
- ◆病院事業会計 31億6,594万3千円
(+4億5,634万8千円)



政策03

安心を感じる保健・医療・福祉の充実

154億3,744万円
(+2億5,618万円、+1.7%)

夜間急病センター運営経費
1億3,338万円

発熱や腹痛など、内科・小児科の急病の方を診察する夜間急病センターを運営します。



えべつ市民健康づくりプラン21策定事業
311万円

市民ひとりひとりの健康づくりを支えるため、次期健康づくりプラン21の策定に向けた現状分析やアンケート調査を実施します。

一時預かり事業
2,331万円

緊急・一時的に家庭での保育が困難となる児童を預かる一時預かりを実施します。

- ◆公立保育園（1園）における実施
- ◆民間保育園（4園）への補助

放課後児童会運営費補助金
7,290万円

民間放課後児童会（17ヶ所）への運営費を補助します。



病児・病後児保育事業
1,427万円

病児・病後児保育を実施する医療機関に対して運営費の一部を補助します。



乳幼児等医療費
1億2,409万円

子育て家庭の医療費負担を軽減するため、小学校終了前児童にかかる医療費の自己負担の一部を助成します。

【拡大】
3歳～6歳及び小学生の入院時負担について、1割（上限4万4,400円）から初診時一部負担金（580円）に軽減



障害者自立支援給付費
17億5,100万円

障害者自立支援法に基づく介護給付費及び訓練等給付費

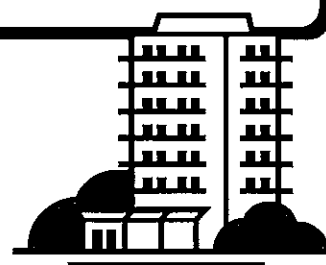


障害者成年後見制度利用支援事業
42万円

【新規】
障がい者の成年後見制度活用に対する補助を実施します。

生活扶助自立助長支援事業
28億5,694万円

生活保護法に基づき、生活困窮者に対し健康で文化的な最低限度の生活を保障するために扶助費を支給し、自立助長を行います。



特別会計

226億9,150万円
(+18億4,400万円、+8.8%)

国民健康保険特別会計
132億6,900万円(+11億4,700万円)

江別市国民健康保険の被保険者に対して、疾病や負傷に対する保険給付や出産育児金等の現金給付等を行います。

- ◆被保険者数や医療費の増加に伴い、療養給付費などが増加し、前年比9.5%増加します。
- ◆国保税を軽減するため、一般会計から約8億円の繰り入れを受けます。

後期高齢者医療特別会計
14億400万円(+9,900万円)

75歳以上の高齢者の方が加入する後期高齢者医療保険を運営する北海道後期高齢者医療広域連合への納付金

- ◆被保険者が納付した保険料 11億2,515万円
- ◆低所得者の保険料軽減に対する公費負担 2億2,801万円
- ◆その他事務費など 5,084万円

介護保険特別会計
75億8,800万円(+4億1,200万円)

平成24年度は第5期介護保険事業計画の初年度となり、高齢化による介護給付費の増加を見据えて計画的に事業を進めていきます。

- ◆要介護者・要支援者の増加、介護報酬の改定等に伴い、前年比5.7%増加します。
- ◆介護予防の取組み、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計
4億3,050万円(+1億8,600万円)

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆基金で保有している土地の管理経費
- ◆RTNパーク造成など市の投資事業に対する債権運用
- ◆土地・現金の運用益の基金への繰出金

企業会計

167億1,598万8千円
(+11億2,426万1千円、+7.2%)

水道事業会計 32億9,767万9千円(+2億1,547万4千円)

- ◆水道事業では、浄水施設や配水施設などの改修を計画的に行い、市民生活のライフラインとして常に安全で良質な水道水を安定して供給します。また、少子高齢化による人口の減少や景気低迷、節水型機器の普及などにより水需要が逡減してきており、財政規模に見合った水道施設整備を計画的に行っていく必要があります。

- ◆災害に強いライフラインの構築を図るため、基幹管路の耐震化工事を実施します。
- ◆平成25年度からの西野幌地区への給水開始に向け、配水池の築造工事を実施します。



下水道事業会計 52億5,236万6千円(+4億5,243万9千円)

- ◆下水道事業では、市民のみならず安全で、快適な生活環境を確保できるよう、雨水管渠整備と環境に配慮した適切な下水処理を進めていきます。

- ◆雨水対策について、浸水対策とともに、災害に強い下水道施設として引き続き整備を実施していきます。
- ◆食品関連産業立地に向けた産業インフラ整備のため、RTNパークの汚水幹線整備を進めます。



病院事業会計 81億6,594万3千円(+4億5,634万8千円)

- ◆病院事業では、総合内科医の増員による診療体制の充実に努めます。
- ◆各医療機関との病病・病診連携を一層進め、紹介患者受入れを引き続き推進するとともに、病床利用率増加を図ります。

- ◆日本医療機能評価機構による病院機能評価（V6.0）の認証を取得し、より良い病院づくりを目指します。（平成19年度V5.0取得済み）



平成24年度 江別市予算（企業会計を除く）

（千円）

		23年度	24年度	差引	増減率	備 考
一般会計		38,645,000	39,240,000	595,000	1.5%	
特別会計	国民健康保険	12,122,000	13,269,000	1,147,000	9.5%	
	後期高齢者医療	1,305,000	1,404,000	99,000	7.6%	
	介護保険	7,176,000	7,588,000	412,000	5.7%	
	基本財産基金運用	244,500	430,500	186,000	76.1%	
計		59,492,500	61,931,500	2,439,000	4.1%	

ω

うち健康福祉部関係予算

（千円）

		23年度	24年度	差引	増減率	備 考
一般会計		11,566,946	11,509,768	△ 57,178	-0.5%	
	健康福祉部予算の割合	29.9%	29.3%			
特別会計	国民健康保険	12,122,000	13,269,000	1,147,000	9.5%	
	後期高齢者医療	1,305,000	1,404,000	99,000	7.6%	
	介護保険	7,176,000	7,588,000	412,000	5.7%	
計		32,169,946	33,770,768	1,600,822	5.0%	
	健康福祉部予算の割合	54.1%	54.5%			

平成24年度 政策別主要事業概要

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。

政策 施策	主 な 事 業	款	項	目	事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容
03	安心を感じる保健・医療・福祉の充実				15,437,439	(計 183 事業)
01	地域福祉の充実				164,144	(計 8 事業)
◎	ボランティア人材養成事業	3	1	3	2,047	視覚・聴覚障がい者向け点訳、手話、朗読、要約筆記奉仕員養成講座の開催(地域生活支援事業)
	民生委員活動支援事業	3	1	1	16,454	市内9地区の民生委員児童委員協議会への補助等
	社会福祉協議会補助金	3	1	1	88,575	社会福祉協議会運営費補助、季節保育所運営費補助
○	社会福祉センター大規模改修事業補助金	3	1	1	11,510	★【新規】社会福祉センターの電気設備、電話設備、空調設備、エレベーター、自動ドアの改修工事
	その他 4 事業				35,558	
02	健康づくりの推進				3,961,873	(計 32 事業)
◎	成人検診推進事業(結核予防・がん検診経費)	4	1	7	70,031	結核・がん検診の実施
◎	成人検診推進事業(健康診査経費)	4	1	7	2,647	歯周疾患・肝炎ウイルス・骨粗しょう症等検診の実施
◎	成人検診推進事業(エキノコックス対策経費)	4	1	7	152	エキノコックス症検診の実施
◎	成人検診推進事業(女性特有がん・大腸がんクーポン検診経費)	4	1	7	27,609	子宮頸がん検診(20、25、30、35、40歳対象)、乳がん及び大腸がん検診(40、45、50、55、60歳対象)の無料化
◎	成人検診推進事業(肝炎ウイルス検診経費)	4	1	7	10,803	肝炎ウイルス検診(40、45、50、55、60、65歳対象)の無料化
◎	健康づくり推進事業	4	1	7	6,447	健康情報の充実、地域巡回健康管理指導、地域健康づくり活動の実施
◎	乳幼児健康診査推進事業	4	1	6	14,148	4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健康診査、発達健康診査の実施
◎	救急医療対策事業	4	1	1	23,201	夜間、休日の救急医療体制の確立(内科系、小児科系、外科系)
	夜間急病センター運営経費	4	1	1	133,379	夜間急病センターの管理運営経費
	予防接種経費	4	1	3	77,186	乳幼児、児童、生徒の定期予防接種の実施
	高齢者インフルエンザ予防接種経費	4	1	3	32,926	65歳以上を対象としたインフルエンザ予防接種への助成
○	子宮頸がん予防・ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業	4	1	3	76,842	子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の全額助成
	妊産婦健康診査経費	4	1	6	58,943	妊婦健康診査(一般健診、超音波検査等)の実施
○	えべつ市民健康づくりプラン21策定事業	4	1	7	3,110	★【新規】次期えべつ市民健康づくりプラン21計画策定に向けた現状分析、アンケート等の実施
○	国民健康保険会計繰出金	12	1	1	772,262	繰出基準に基づく一般会計負担
○	病院事業会計繰出金	12	1	4	1,299,321	繰出基準に基づく一般会計負担
○	介護保険会計繰出金	12	1	6	1,030,907	繰出基準に基づく一般会計負担
○	後期高齢者医療会計繰出金	12	1	7	276,989	繰出基準に基づく一般会計負担
	その他 14 事業				44,470	
03	子育て環境の充実				3,969,561	(計 60 事業)
◎	子育て知識啓発事業	3	2	1	902	子育て支援センター「すくすく」での子育て講座・講演会の開催

平成24年度 政策別主要事業概要

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。

政策	施策	主 な 事 業	款	項	目	事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す 主 な 内 容
		◎ 子育てサロン事業	3	2	1	247	子育て中の母親や子育てサポーターが地域で集う「子育てサロン」の実施
		◎ 一時預かり事業	3	2	4	23,309	緊急・一時的に家庭における保育が困難となる児童の預かり
		◎ 延長保育事業	3	2	4	55,968	午後7時15分までの延長保育を全園で実施
		◎ 家庭児童相談事業	3	2	6	1,826	児童の養育等に関する家庭児童相談事業に係る経費
		◎ 児童館地域交流推進事業	3	2	5	48,997	市開設の児童館(7館)及び併設児童クラブ(2クラブ)運営経費
		児童扶養手当	3	2	1	567,342	ひとり親家庭等への児童扶養手当支給
		子ども手当	3	2	1	315,960	中学校修了までの児童を対象とする子ども手当支給(2か月分)
		子どものための手当	3	2	1	1,459,725	中学校修了までの児童を対象とする子どものための手当支給(10か月分)
		民間子育て支援センター委託費	3	2	1	29,500	民間子育て支援センターへの委託費
		○ 放課後児童会運営費補助金	3	2	1	72,898	民間放課後児童会(17か所)運営費補助
		○ ファミリーサポート事業	3	2	1	4,891	市民相互による子育て援助活動に関する事務局運営委託経費
		○ 親と子の絵本事業	3	2	1	955	新生児に絵本を全戸配布
		○ こんにちは赤ちゃん事業	3	2	1	1,563	育児に対する不安感の解消を目的とした地域の主任児童委員と民生委員による家庭訪問の実施
		ひとり親家庭等医療費	3	2	2	55,645	★ひとり親家庭等の父母及び児童の医療費自己負担分一部助成【拡大】3歳から6歳及び小学生の入院時負担を1割(上限44,000円)から初診時一部負担金(580円)に軽減
		○ 母子自立支援教育訓練給付事業	3	2	2	92	母子家庭の母の指定教育訓練講座受講(修了)費用の一部支給
		○ 母子家庭高等技能訓練促進事業	3	2	2	25,380	母子家庭の母の指定資格取得時の高等技能訓練促進費の支給
		保育園運営経費	3	2	4	98,688	市立保育園(5園)運営に係る非常勤職員報酬、臨時職員賃金、給食材料費、教材費等
		民間保育所等入所委託費	3	2	4	653,116	民間保育園(6園)、認定こども園(2園)の入所委託費等
		民間保育所等運営費補助金	3	2	4	72,714	民間保育園の1歳児保育士加配置、障がい児保育、調理員、牛乳代等の補助
		○ 認可外保育施設運営費補助金	3	2	4	2,213	認可外保育施設(3園)の運営費補助
		○ 休日保育事業	3	2	4	3,903	休日保育の実施(誠染保育園)
		○ 病児・病後児保育事業	3	2	4	14,270	病児・病後児保育を実施する医療機関に対し、運営費の一部補助
		○ あかしや保育園整備事業(中原通街路事業関連)	3	2	4	5,000	中原通拡幅に伴い狭小となった園庭の拡幅工事、代替購入用地の整備
		○ DV相談等支援事業(光交付金)	3	2	6	2,269	DV相談等の支援を行う家庭児童相談員兼母子自立支援員の増員、専門的な研修、緊急事案への即時対応の体制整備等
		乳幼児等医療費	3	2	7	124,086	★小学校修了前児童の医療費自己負担分一部助成【拡大】3歳から6歳及び小学生の入院時負担を1割(上限44,400円)から初診時一部負担金(580円)に軽減
		○ 乳幼児虐待予防支援事業	4	1	6	4,813	妊産婦、乳幼児と保護者への子育て支援対策充実(相談・指導・援助)による虐待早期予防
		幼稚園就園奨励費補助金	10	1	3	174,780	幼稚園の就園奨励費補助(保護者負担の軽減)
		○ 私立幼稚園補助金(運営費補助金)	10	1	3	20,000	市内私立幼稚園(13園)に対する運営費補助
		○ 私立幼稚園補助金(障害児教育補助金)	10	1	3	2,500	市内私立幼稚園に対する障がい児受入れ経費の補助
		○ 私立幼稚園補助金(連合会補助金)	10	1	3	500	江別市私立幼稚園連合会への補助
		その他 29 事業				125,509	

平成24年度 政策別主要事業概要

◎は実施計画事業を、○は主な臨時費を示す。

政策	施策	主 な 事 業	款	項	目	事業費 (千円)	★は新規・拡大項目等のある事業を示す	主 な 内 容
	04	障がい者福祉の充実				2,498,296		(計 40 事業)
		◎ 身体障害者訪問入浴サービス事業	3	1	3	5,307		在宅の重度障がい者向け訪問入浴事業(地域生活支援事業)
		◎ 障害者社会参加支援事業	3	1	3	3,545		聴覚障がい者への手話通訳者、要約筆記者の派遣、視覚障がい者への点字又は音声による広報えべつ等の配布(地域生活支援事業)
		◎ 子ども発達支援推進事業	3	1	3	7,384		子ども発達支援センターの管理運営、関係機関への支援
		障害者補装具給付費	3	1	3	29,632		身体障がい者への補装具給付
		障害者日常生活用具給付費	3	1	3	24,378		障がい者への日常生活用具給付(地域生活支援事業)
		障害者タクシー利用料金助成事業	3	1	3	16,195		在宅の身障1・2級、精神1級、療育手帳A判定者への基本料金相当分のタクシーチケット支給による助成
		精神障害者相談員設置事業	3	1	3	1,881		精神障がい者向け生活相談事業の委託(地域生活支援事業)
		障害者日中一時支援事業	3	1	3	39,632		障がい者の日中一時支援給付費(地域生活支援事業)
		障害者移動支援事業	3	1	3	26,340		障がい者の移動支援給付費(地域生活支援事業)
		障害者相談支援事業	3	1	3	6,300		障がい者に対する相談支援、情報提供、自立支援協議会運営事業等の委託
		障害者自立支援給付費	3	1	3	1,751,000		障害者自立支援法に基づく介護給付費及び訓練等給付費
		重度心身障害者医療費	3	1	3	261,646	★	重度心身障がい者の医療費自己負担分一部助成【拡大】3歳から6歳及び小学生の入院時負担を1割(上限44,400円)から初診時一部負担金(580円)に軽減
		障害者補装具給付費(児童)	3	1	3	10,389		障がい児の補装具の給付
		障害者日常生活用具給付費(児童)	3	1	3	1,939		障がい児の日常生活用具の給付(地域生活支援事業)
		○ 精神障害者ケアマネジメント推進事業	3	1	3	2,036		障がい者の地域における支援体制整備のための研修会実施、相談員配置(地域生活支援事業)
		○ 重症心身障害者(児)医療的ケア事業	3	1	3	2,462		重症心身障がい者・障がい児の社会参加活動への看護師派遣に係る経費
		○ 障害者成年後見制度利用支援事業	3	1	3	415	★	【新規】障がい者の成年後見制度活用に対する補助(地域生活支援事業)
		その他 23 事業				307,815		
	05	高齢者福祉の充実				869,600		(計 25 事業)
		◎ 深夜等訪問介護利用者負担額助成事業	3	1	2	250		夜間、早朝、深夜に訪問介護を利用する低所得者への助成
		◎ 高齢者クラブ生きがい支援推進事業	3	1	2	6,885		単位高齢者クラブ、高齢者クラブ連合会への補助
		福祉除雪サービス事業	3	1	2	11,792		低所得の高齢者、重度身体障がい者世帯への玄関前除雪費用一部助成
		在宅給食サービス事業	3	1	2	1,157		65歳未満の虚弱高齢者、身体障がい者への夕食配達及び安否確認(1日平均20食)
		その他 21 事業				349,516		
	06	社会保障の充実				4,484,465		(計 18 事業)
		◎ 生活扶助自立助長支援事業	3	3	2	2,856,944		生活困窮世帯への生活保護
		◎ 市営住宅環境改善整備事業	8	5	2	26,429		屋根葺替及び外壁塗装(7棟40戸)
		後期高齢者医療費	3	1	2	1,204,581		後期高齢者医療広域連合に対する75歳以上の医療費負担金
		○ 新栄団地建替事業	8	5	2	283,773	★	A棟建設工事(平成24～25年度継続費 計866,400千円)
		その他 14 事業				112,738		

江別市高齢者総合計画【「第5期介護保険事業計画」

「第6期高齢者保健福祉計画」】の概要

◎第1章 計画策定の趣旨等

計画見直しの視点

- ① 計画期間中における介護サービスの基盤整備について、居宅サービスの充実と、介護保険施設や地域密着型サービスの日常圏域別の地域包括ケア体制を踏まえた整備。
- ② 高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるような体制強化のための、地域包括支援センターの更なる充実。
- ③ 要介護状態になる可能性がある高齢者の早期発見・対応の確立。
- ④ 認知症高齢者の増加に対応するための家族を含めた支援体制の拡大。
- ⑤ 豊富な知識と経験を活かす場として、高齢者の社会参加と生きがいづくりの推進。

◎第2章 高齢者の現状と将来推計

第1節

総人口が平成 17 年をピークに減少しているが、65 歳以上の高齢者人口は平成 17 年と平成 22 年をくらべると逆に 4,211 人増加している。

要支援、要介護認定者数と介護認定率は高齢者人口に比例して確実に増加し、介護サービス利用者も増加している。

第2節

次期計画の最終年である平成 26 年度には高齢化率が 25.8% の 30,947 人と推計され、要支援、要介護認定者は 6,018 人、介護サービス利用者は 4,660 人と推計される。

◎第3章 基本理念・基本目標

基本理念

江別市に住むすべての高齢者が自分の意思で、自分が望む生活を送ることができるよう地域全体で認め合い、支えあうまちづくりを目指す。

基本目標

- ① 住み慣れた地域で健康に安心・安全に暮らしていける環境づくり
 - ・ 一時予防、二次予防事業の推進
 - ・ 介護サービスの充実
- ② 社会参加・自己実現に向けていきいきと暮らしていける環境づくり
 - ・ 認知高齢者の早期発見の対応と認知症理解への普及啓発

- ・ 地域包括支援センターの充実と地域包括ケアに向けた連携体制の充実
- ③ 多世代がつながり、支えあう共生のまちづくり
 - ・ 高齢者の住環境整備とバリアフリーの推進及び社会参加の促進

◎第4章～第8章 基本施策の内容

第4章（基本施策1）

介護予防と健康づくりの推進として、介護予防に関する普及啓発活動の一次予防事業の支援と、要介護状態等になる恐れの高い二次予防事業対象者の把握と事業参加の促進。

第5章（基本施策2）

第1節居宅サービスの充実・第2節地域密着型サービス・第3節施設サービスの現計画の実績数値とそれに基づく次期計画の計画数値の推計。

第6章（基本施策3）

認知症高齢者とその家族の支援として、関係機関とのネットワークを強化し、早期発見のための対応や認知症理解の普及啓発の推進。

第7章（基本施策4）

地域包括支援センターの充実や地域包括ケア推進に向けた連携体制の充実と地域支えあい体制の推進の継続支援。

第8章（基本施策5）

介護保険サービスや地域支援事業で対応できない、生活支援や住環境整備、趣味や文化スポーツ活動の推進を図ることによって、高齢者が長年住み慣れた地域での生活が継続可能となる体制の確立。

◎第9章 介護保険料

算定のポイント

- ① 保険給付費の財源として公費負担以外の第1号被保険者の負担割合が20%から21%となった。
- ② 現計画の7段階（9区分）から10段階（12区分）制とし、低所得者への軽減措置と高所得者層の応分負担を求める。
- ③ 次期計画に江別市民のみが利用できる、小規模地域密着型施設の整備。
- ④ 財政安定化基金及び介護給付費準備基金を保険料上昇抑制分として取り崩す。

以上から次期3年間の保険料基準月額を4,520円とした。

さらに、低所得者に対する軽減措置として保険料の減免、利用者負担額の軽減、市独自の制度である深夜等巡回型訪問介護利用者負担軽減の継続実施する。

障がい者支援・えべつ21プラン 「第3期障がい福祉計画」の概要

◎第1章 計画の策定にあたって

今回のポイントとなるのは、以下の3点となっている。

- ①「障がい福祉計画」については、数値目標の見直しが中心となることから、国や道の定めた指針に基づき、サービス見込量等の数値目標を設定する。
- ②計画の基本理念、基本目標、施策については、現行計画の基本的な考え方を踏襲しますが、制度改正となる部分については、新たなサービス見込量等の数値目標を設定する。
- ③改正された障害者自立支援法に基づき、江別市においても今年度より設置された「江別市地域自立支援協議会」からの意見も聴きながら、見直し作業を行う。

◎第2章 障がいのある方の現状と提供体制

身体・知的・精神の3障がい共に年々障がい者数は増加傾向にあり、加えて高齢化も進んでいるという状況にあり、特に身体障がいの方は、60歳以上の方で全体の4分の3を占めている状況となっている。

◎第3章 障がいのある方の状況と意向

昨年10月末までに、関係者5団体（江別身体障がい者福祉協会、江別視覚障がい者福祉協会、江別聴力障がい者協会、江別手をつなぐ育成会、江別市精神障がい者回復者クラブ）及び、主に市内の障害福祉サービス事業所からなる江別市地域自立支援協議会定例会に対し行った意向調査等の結果、特に市内にサービスの事業所が少ないという声が多く寄せられている。

◎第4章 障がい福祉施策などの進捗状況

- ① 障がい者福祉計画で掲げた8つの基本目標については、基本的に目標値を達成している。
- ② 障がい福祉計画では、それぞれの数値目標の推移を見ると、概ね目標どおりの推移をしているが、就労継続支援B型や児童デイサービスなどについて、目標と実績に大きな乖離があり、これは、就労訓練を希望する知的・精神の障がい者が増えていること、及び早期の療育発見や日中の児童の預かり場所へのニーズが多いことが原因と考えられる。

◎第5章 障がい福祉の課題

今回の意向調査等の結果から得られた様々な意見や現状分析を踏まえ、今後の課題をまとめた。

障害福祉サービスに関し、全体的に事業所が少ないという意見が多いことから、サービス提供事業所の充実や人材の育成・確保、生活・就労の場の確保や相談支援の充実などに

については、今後更に力を入れなければならない課題とした。

◎第6章 計画の基本的な考え方

障がい者福祉計画も含め、2つの計画の「基本理念」と「基本目標」を基本とする。これら「基本理念」「基本目標」については、前提となる第3期障がい者福祉計画の期中であることから、変更せず継続する。

◎第7章 障がい福祉計画

障がい福祉計画で設定するのは①地域移行や一般就労などの目標値と②障害福祉サービスの見込み量。

地域移行等の目標値については、基本的には、国や道から示される基準に基づき設定しているが、就労移行支援利用者、就労継続支援A型利用者の数値基準については、江別市の実情にそぐわないことから地域の実情を踏まえて目標設定した。

また、障害福祉サービスの見込み量については、基本的には、直近の利用状況をベースに、今までの実績などを踏まえながら必要量を見直した。

さらに、障害者自立支援法改正に伴い、昨年10月より新たに増えた同行援護サービスについて加えており、平成24年4月より始まる計画相談支援についても、国や道の指針に基づき、3年間で必要な量を見込んだ。

◎第8章 計画の実現に向けて

障がい者の現況、課題、問題点、今後の施策の展開方向を踏まえて、計画実現に向け推進していくべき事項として、特に、今後重要となってくる相談支援についても、より一層の充実を図るため、サービス等利用計画作成のため相談支援専門員の研修受講による増員や地域における相談支援の中核的役割を担う基幹相談支援センター設置について検討する。

知的障がい者生活実態調査について

【目 的】

市内の知的障がい者のうち、地域との接点がなく実態が不明な者について、電話、文書、訪問により調査を行い、支援を要する状況が確認できた場合には、相談先の紹介や定期的な訪問確認等により、社会と繋がりが持てる状態を作る。

【対 象 者】

- ・市内療育手帳所持者（A判定※重度、B判定に分けて抽出）

※家族がいない者（単身者）や家族が高齢な者（本人を除く家族で65歳以上の方しかいない世帯）が対象

全体40名

（療育手帳A判定： 8名
療育手帳B判定： 32名）

療育手帳所持者	A判定	B判定
H24. 2. 1 現在	412	554
障がいや介護のサービス等を利用しているため除外	305	217
18歳未満で保護者との同居確認済みのため除外	70	174
住民登録がないため除外（市外転居・居住実態がない）	29	61
本人含め3人以上同居（※皆65歳未満）のため除外		70
残り（対象者）	8	32

【調査方法】

対象者A判定8名、B判定32名について、

電話番号が確認できるものについては、電話にて実態確認を行う。

電話番号が不明なもの、電話が繋がらないものについては、訪問調査を行い、不在のものについては、文書照会を行う。